

# 重要課題 (マテリアリティ)

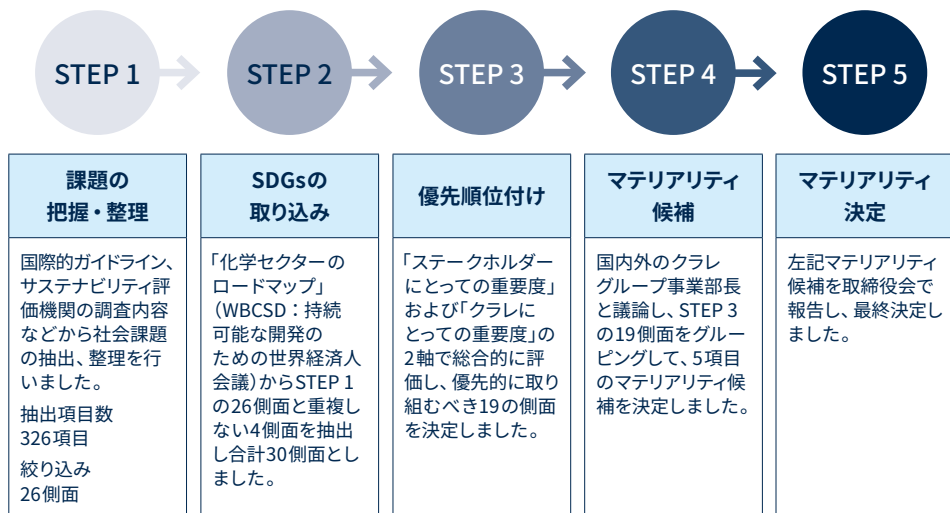
## マテリアリティを起点とした事業活動の推進



クラレグループは、事業活動を通じた社会課題の解決と持続的な成長を両立させるため、自社にとって特に重要な課題をマテリアリティとして特定し、経営判断や事業戦略の前提となる重要な指針と位置づけています。2019年には、下図のマテリアリティ特定手順に基づき、『自然環境の向上』、『生活環境の向上』、『資源の有効利用と環境負荷の削減』、『サプライチェーン・マネジメントの向上』、『「誇りを持てる会社」づくり』の5項目をマテリアリティとして設定しました。各組織はこれらの解決に資する計画を立案し、その内容は中期経営計画「PASSION 2026」の施策や目標に反映されています。今後も、社会情勢の変化を踏まえながら、定期的に課題の把握・整理を行い、必要に応じてマテリアリティの見直しを行います。

また、クラレグループの企業活動は、お客さま・消費者、株主・投資家の皆さま、調達先・協業先、社員、そして地域社会や行政など、多様なステークホルダーとの関わりによって成り立っています。引き続きステークホルダーとの対話と協働を一層深め、企業活動のさらなる充実を図っていきます。

## マテリアリティ特定手順



## マテリアリティに基づく「PASSION 2026」の取り組み

